



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234

R5.11.2 No.8

『思い出 パート2』

教務主任 伊藤 晋市



1 1月の全校朝会で話をする機会をもらった私は、こんな昔話を子どもたちにしてみました。

～以下、全校朝会の話に沿って概要を記述！～

皆さんには、今、欲しい物がありますか？私が“欲しい物”と言って1番に思い出すのは、小学生の頃のある出来事です。4年生だった私には、欲しくて欲しくてたまらない物が1つありました。それは、グローブです。



それまでは、叔父や叔母から受け継いだおさがりのガバガバのグローブを使っていたので、革のいい匂いするグローブが欲しくてたまらなかったのです。スポーツ店のショウウインドウに飾られているグローブを、学校の行き帰りに眺め、『いつ、家人にお願いしようかなあ～？』と毎日考えていました。値段は、確か2700円。～その後、家人にお願いして買ってもらうことを約束～

そんなある日、私は給食費を母から集金袋（確か2400円だったかと）に入れてもらい、いつものように『行ってきま～す。』と家を出たんです。〔今、阿賀町の学校給食は、子どもの分を全額町が補助してくれていますが、その頃は現金を毎月集金袋に入れて提出する、そんな時代でした。〕しかし、おっちょこちょいだった私は、学校に着くと集金袋のことなどすっかり忘れ…2日後、先生から『伊藤君、集金袋持ってきた？』と言われ、『ドキッ、どこやったっけ？』それから、ランドセルの中を探しても…見つからない。机の中を探しても…見つからない。家に帰ってからすべての教科書のページをめくり…ありとあらゆる場所を探しましたが、結局見つかることはありませんでした。私は、家人への申し訳ない気持ちでいっぱいになり、がっくりと肩を落としました。そして、『ぼく、グローブいらない。』と言ったんです。それを聞いて家人は、何も言いませんでした。おっちょこちょいだったばっかりに、あこがれのグローブは、どこか遠い彼方へ消えていってしまったのでした。

ところが、5年生になったとある日曜日、用事で新潟に行ってきた父親がおみやげを買ってきてくれました。『ほら晋市！』と言って私の目の前に差し出された物、それは、茶色ではめても固くてまだよく動かすことができないような革のいい匂いのする新品のグローブでした。そして、『これもだ！』と言って当時大流行だったゴールドの金属バットも私に手渡してくれました。わたしは、まるで夢のようなことが2つも同時に…嬉しくて嬉しくて、その夜は、バットとグローブを枕元に置いて布団に入りました。ところがとびっきり嬉しいことがあると、夜中に目が覚めるんですよね。『もしかしたら夢じゃないか』と思って！三度も目が覚め、自分の頬をつねった日のことを今でもしっかりと覚えています。

欲しい物がすぐに手に入ることは、幸せなことです。でも、欲しいものを我慢することも大事なんだなあ～と、今、改めて思います。なぜなら、こんな歳になつても、あの時の喜びが鮮明に蘇るんだから。皆さんの欲しい物はすぐに手に入りそうですか。それとも、手に入れることは難しそうですか・・・。

文化祭&ふるさと阿賀町津小チャレンジフェスティバル

10月28日、久しぶりに通常開催に近い文化祭が行われました。当日はたくさんの方から来校いただき、賑やかな文化祭となりました。チャレンジフェスティバルでは、津小サポーターの皆さんから先生になっていただき、7つの体験にチャレンジしました。また、PTA文教部の皆さんにご協力いただき、おいしいお弁当の提供ができました。



こぎつね班で作品鑑賞「ここ、いいね」



親子で作品鑑賞「がんばったよ」



太鼓体験 全員で「ヤ～」



まりつき&紙風船体験「楽しいな～」

税の絵はがきコンクール & ミシンの達人津小サポーター



新津税務署が主催する「税の絵はがきコンクール」で6年生の2人が入賞しました。



5年生の家庭科「ミシンの学習」で津小サポーターの皆さんのが先生役をしてくださいました。ありがとうございました。